

第6回刈谷市スマートシティ推進協議会 議事録

- 日時：2024年3月26日（火）14時00分～15時15分
- 場所：刈谷市役所 7階大会議室及び ZOOM
- 参加者：別紙のとおり
- 議事：

開会

- （企画財政部長）
 - ・ 定刻となったため、第6回刈谷市スマートシティ推進協議会を開会する。
 - ・ 以後は次第に沿って進める。まず、開会にあたって、刈谷市スマートシティ推進協議会の会長である市長の稲垣よりあいさつ申し上げる。
- 挨拶（市長）
 - ・ 昨年度、協議会を設立し、2年目となる今年度は、4月から課題解決型実証プロジェクトをスタートさせ、本年度は3件のプロジェクトを実施した。
 - ・ 夏休み期間には、放課後児童クラブの弁当配達を行う「めしクルーKids 刈谷」を実施し、大変ご好評であった。
 - ・ 10月には、愛知県スマートシティモデル事業に採択された「刈谷スマートウェルネスプロジェクト 2023」を実施し、私も2度ほど体験し、歩行姿勢を計測したところ、高得点をいただいた。
 - ・ 1月には、国土交通省の共創モデル実証プロジェクトに採択された「刈谷放課後子育て MaaS プロジェクト」を実施し、こちらも大変ご好評をいただいた。サービスが無料であることも一因であり、サービス実装にはビジネスモデルの構築が必要であると認識している。
 - ・ 社会全体に目を向ければ、コロナ禍が空けて地域イベントも盛んに行われるようになり、社会経済活動も盛んになってきている。
 - ・ 刈谷市では3月22日に来年度当初予算の議決をいただいたが、企業、事業者皆様のご努力の甲斐もあり、当初予算が初めて1,000億円を超えた。戦後最高の株価を記録したというニュースもあった。
 - ・ 令和7年度は、刈谷市は市政75周年にあたる。70周年はコロナにあたり、色々な催事が中止となってしまった。その中で賑わいの創出のイベントとして、3月22日から6月30日まで「刈谷満喫ナゾ巡り」を実施している。謎解きを通して刈谷の周辺地域や名所をめぐっていただきたい。友達や恋人と巡っていただき楽しみながら歴史・文化・産業を知ってもらいたい。シティプロモーションの一環で市民だけでなく市外の方も含めて楽しんでいただきたい。
 - ・ 本日は、課題解決型実証プロジェクトの4つの課題を各課から発表させていただく。スマートシティの取組は、企業の皆様との共創があってこそ。Win-Win な取組となるよう企業と行政が一体となって実証から実装に向けて取り組んでいきたい。
 - ・ 昨年、東京都へ訪れた際に「スマートシティとは気が利くまち」と書いてあり、なるほどと納得した。刈谷市が「気が利くまち」となるように取り組んでいきたい。

- 前振り（企画財政部長）
 - ・ 続いて、今年度から協議会会員となったフジ地中情報株式会社に御挨拶をいただく。
- 挨拶（フジ地中情報株式会社）
 - ・ この度、新たに刈谷市スマートシティ協議会へ参画させていただくこととなった。
 - ・ 参加したプロジェクトは水道管漏水の早期発見を目指すものであり、自社で 50 年以上の管路更新や GIS を活用する管路解析の実績等を踏まえ、開発・設計に参加させていただいた。今後ともよろしく願いたい。

議題 1. 令和 5 年度活動報告について

- 資料 1 「刈谷市スマートシティ推進協議会令和 5 年度活動報告」について（企画調整監）
 - ・ 本日使用する資料は、事前に登録したメールアドレスに事前に送付させていただいている。
 - ・ 「1.今年度の刈谷市スマートシティ推進協議会の活動状況」について説明する。
 - 今年度は書面会議を含めて計 3 回開催した。
 - 第 4 回は今年度の活動計画や、課題解決型実証プロジェクトの募集課題について説明した
 - 第 5 回では、書面にて課題解決型実証プロジェクトの選定結果を報告した
 - ・ 7 月には、刈谷市スマートシティのホームページをリニューアルした。サムネイルを採用し、各プロジェクトが見つけやすい構成とした。課題解決型実証プロジェクトの募集も本ホームページを通じて行う。
 - ・ 9 月には、課題解決型実証プロジェクトに選定されたフジ地中情報株式会社が新規会員となった。
 - ・ 「2.令和 5 年度中に実施した実証プロジェクト」を紹介する。
 - 「J クレジット制度を活用した市内循環モデルの構築」は、研究会時代のアイデアである。令和 5 年 4 月に「かりやカーボンニュートラルバンク」を立ち上げ、令和 6 年 1 月 26 日に J クレジット制度に登録が完了した。Co2 削減にあたり J クレジットが活用できるよう市内企業の支援につなげていく。
 - 課題解決型実証プロジェクト 3 件は、次回の協議会にて各企業からご紹介をいただく。
 - 「めしぐるーKids 刈谷」については、放課後児童クラブの利用者に対し、アイシン様のカーナビ技術を活用した「めしぐるー」の仕組みをアレンジしたお弁当の配達等のサービスである。お弁当利用者の評価や支援者の負担等を検証したが、アンケートは大変好評でサービス満足度が高く、継続してほしいという声が多かった。フィールド提供型として実施してきたが、市としても子育て世帯への支援として有効と捉えており、実証の継続と実装を目指す。
 - 愛知県スマートシティモデル事業に採択された「刈谷スマートウェルネスプロジェクト 2023」は、ルビットタウン刈谷にて実施。姿勢を切り口に、ジェイテクトのツールを用いて歩行状態を可視化するとともに、専門家によるアドバイス、NTT コミュニケーションのアプリでミッションを配信した。そして、1 カ月後の改善傾向を可視化した。イベント参加者には姿勢の改善傾向があることがわかり、利用者からはまた実施頂きたいとの声も頂戴した。愛知県で行った成果報告について、近日中にホームページに公開するので、ご覧いただければと思う。
 - 「刈谷子育て MaaS プロジェクト」は、国土交通省の令和 5 年度共創モデル実証プロジェクトに採択され実施した。子育て世帯の送迎の悩みに対して、利用者サイトでの登録情報を踏まえて、カーナビ技術と AI 技術を用いて最適となる乗り合わせと経路を割り出して子どもを送迎する仕組みである。利用者の満足度が高く、有料でも取り入れてほしいとの声もあった。今後も実装に向けて検証

を継続する。

- 「高齢者見守り安心機器の機能拡充」については、既設の人感センサーの反応回数と要介護認定区分等のデータを突合し、相関関係を AI 解析し、健康上のリスクを検知したら携帯型機器に注意喚起するもの。ソフトバンクから提案をいただき実証に至った。今後検証をしていく。

議題 1.に関する質疑応答

- 議題 1 の質疑応答について（企画財政部長）
 - ・ 特に質疑がないため、次の議題へ移る（企画財政部長）

議題 2. 令和 6 年度活動計画について

- 資料 2 「刈谷市スマートシティ推進協議会令和 6 年度活動計画について」（企画調整監）
 - ・ 「1.令和 6 年度刈谷市スマートシティ推進協議会スケジュール」について説明する
 - ・ 一昨年の 10 月に協議会を設立後に出てきた課題がある。
 - 具体的には、協議会 3 月と 4 月に開催したが、同 2 回内容が重複したことや、6 月の書面開催は課題解決型プロジェクトの選定結果の報告のみとなったことが挙げられる。
 - 第 4 回の協議会で課題提示課からプレゼンをしたが、既に課題は公表されており、本来課題を会員の皆様へ事前に報告してから公表を行うべきであったと考える。
 - また、課題解決型プロジェクトの成果報告は同年度内 3 月に行うことは準備が無く負荷がかかる。
 - ・ こういった点を踏まえ、令和 6 年度は、課題解決型プロジェクトの課題照会を約 1 カ月前倒すことに加え、新年度 5 月に第 7 回協議会を予定する。このことで、課題解決型プロジェクトの選定結果と、企業による成果報告を合わせて行う予定である。
 - ・ 以上のことから、第 7 回協議会を令和 6 年 5 月 24 日に、第 8 回協議会を令和 7 年 3 月 25 日に開催することとしたい。
 - ・ 「2.令和 6 年度課題解決型実証プロジェクト」について説明する。
 - ・ 今年度は、選定してから契約までに想定以上に時間を要した反省を基に、次年度は 1 カ月程度前倒しをして課題提示と協議会開催を設定している。
 - ・ スケジュールの詳細としては P8 のとおり。明日から HP で 4 件の企画提案募集を開始する。
 - 大人に響く交通安全（くらし安心課）
 - 子どもの見守りサポート強化（子ども課）
 - 保育教諭が働きやすいスマートな保育園・幼稚園の実現（子ども課）
 - バスの運行状況とロケーション情報の入手（都市交通課）

議題 2.に関する質疑応答

- 議題 2 の質疑応答について（企画財政部長）
 - ・ 特に質疑がないため、次の議題へ移る。（企画財政部長）

議題 3. 課題解決型プロジェクトの募集課題について

- 資料 3 「課題解決型プロジェクトの募集課題について」(企画調整監)
 - ・ 課題解決型プロジェクトは、本市が解決したい課題を提示し、解決に資する提案の募集を行うものであり、スマートシティ推進の中心となる仕組みと位置付けている。
 - ・ 本年度の募集課題は計 4 件であり、採択された企業とは委託契約を締結し、上限 300 万の実証費用を市が負担する。
 - ・ コンソーシアムの組成は任意であり 1 社で提案をいただいてもかまわない。
- 各課からのプレゼンテーションに関する連絡事項(企画政策課)
 - ・ 対面でご参加の方の質問への回答はこの場で行うとともに、オンラインで参加の方からチャットで寄せられた質問への回答と合わせて 4/12 にホームページに回答を掲載する。
- プレゼンテーション「大人に響く交通安全」(くらし安心課)
 - ・ 全国的に見ても交通事故が多く発生する愛知県において、市では、子ども世代に対しての交通安全教育や、民間企業と連携した危険個所の可視化の取組を進めている。
 - ・ しかし、大人世代に対する交通安全教育の啓発が課題である。
 - ・ このため、乱横断やながらスマホなどの危険行為や違反行為があったときに、AI カメラ等テクノロジーを活用して音声で注意・制止できる環境を構築したい。
 - ・ なお、テクノロジーは一例であり目的に資する技術があれば提案をいただきたい。
- プレゼンテーション「子どもの見守りサポート強化」(子ども課)
 - ・ 保育園では、日頃から大きな事故につながらないよう、事故の予防や、事故後の素早い適切な対応を念頭に日ごろ対応を進めている。
 - ・ しかし、行方不明や送迎バスで置き去り等の事案も各地では起きており、ソフト面の対応だけでなく、ICT を活用したハード面の強化もしていきたい。
 - ・ これに対し、まず導入したいシステムは、保育教諭の目視確認を補い何かあった時にアラートで知らせてくれるような仕組みを導入したい。
 - ・ 次に、不審者の侵入を防ぐセキュリティを更に強化したく、顔認証システムや AI カメラによる監視強化を考えている。
 - ・ 幼稚園では発達障害の方も多い状況であり、職員の確認だけでは限界もある。園内に出入口も多いため、子どもがどこかに行ってしまった際に早期に気が付ける仕組みが作れると良い。また、園に侵入された方を確認できればよりセキュリティは向上できると思う。
- プレゼンテーション「保育教諭が働きやすいスマートな保育園・幼稚園の実現」(子ども課)
 - ・ 保育教諭は多くの業務を抱え、個人別指導計画を作るケースも増えており試行錯誤をしている。負担を軽減するソリューションを検討していきたい。
 - ・ 事務的な負担軽減は、勤怠管理表の作成について AI を用いて効率化したい。
 - ・ 精神的な負担軽減は、乳幼児突然死を防ぐ対策として午睡のチェックを防ぐ仕組みを考えたい。
 - ・ 保育士という仕事はやりがいがあるが、とても責任のある仕事ともいえる。保育教諭が働き甲斐をもち、活力を持って前向きに仕事することを見せる職場にしていきたい。
- プレゼンテーション「バス運行状況とロケーション情報の入手」(都市交通課)

- ・ かりまるの運行状況やダイヤは、バスロケーションシステムにより PC やスマホから見るができる。
- ・ デジタルサイネージは、バス停 13 か所に設置している。デジタルディバイドの観点から高齢者にとってはスマホでの情報入手は難しく、バス停に直接表示される方がよいとの意見もある。
- ・ 想定する解決策や技術について、直接スマートフォンに届く仕組みを含めて考えている。
- ・ AI や小型サイネージ等、市民の誰もが情報入手できる仕組みを設けたく、提案を募集する。
- 企画提案の募集に関する連絡事項（企画政策課）
 - ・ 審査の際は、新規性、斬新性を重視したい。そのほか、社会実装を見据えたコスト面も重要視させていただく。
 - ・ 提出は、各社単独でもコンソーシアムの形でもかまわない。他企業との連携の際は、事務局を通じたご紹介も可能であるので気軽に問い合わせをいただきたい。

議題 4. その他について

- 次回の予定について（企画財政部長）
 - ・ 次回、第 7 回の推進協議会は、令和 6 年 5 月 24 日（金）15 時 30 分からの開催を予定している。
 - ・ 議題は、令和 5 年度課題解決型実証プロジェクトの成果報告、令和 6 年度課題解決型実証プロジェクトの募集結果を予定する。
- 挨拶（市長）
 - ・ かりまるの利用者について、かりまるは駅への直通ではない一方、刈谷駅へ早くいきたいという市民の思いは強いと認識している。この点に関し、現在有料化を含めた選択肢も考えていかなければならないと感じている。有料の場合は決済機能も必要になる。また、引き続き無料である高齢者、障害者も乗車する中でスムーズに移動しやすくなるご提案も期待したい。

閉会

- （企画財政部長）
 - ・ 以上を持って終了する。

以上